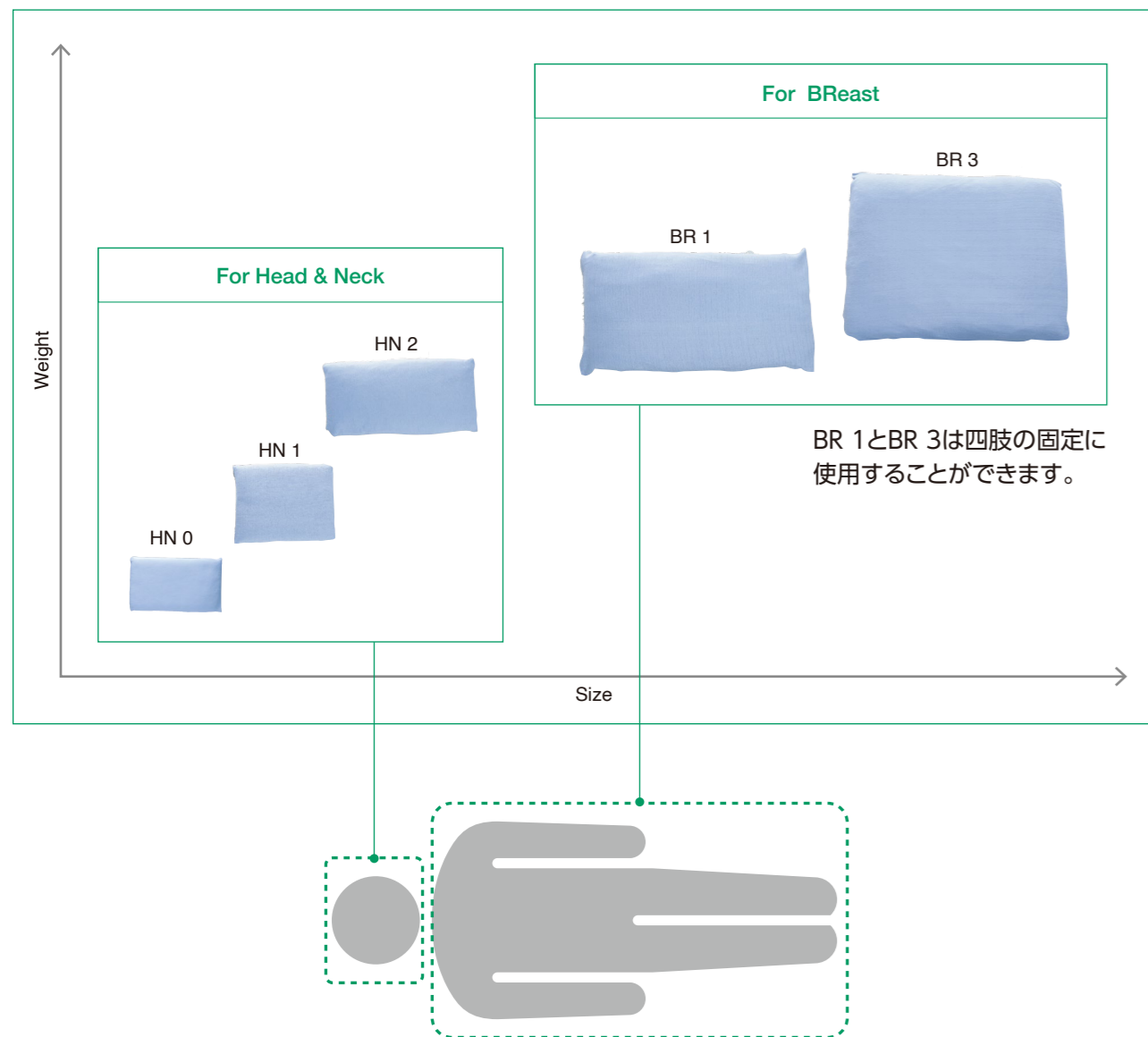


モールドケア RI II MOLDCARE RI II



モールドケア RI II 使用方法



種類と規格

商品名	種類	商品コードNo.	規格	1函入数
モールドケア RI II・HN	0号	16313	15cm×30cm	6パック
	1号	16311	20cm×25cm	3パック
	2号	16312	20cm×45cm	3パック
モールドケア RI II・BR	1号	16321	40cm×60cm	1パック
	3号	16322	60cm×60cm	1パック



販売名:モールドケア RI II・HN
頭頸部画像診断・放射線治療用患者体位固定具
一般医療機器/医療機器届出番号:13B1X00207000032

販売名:モールドケア RI II・BR
胸部画像診断・放射線治療用患者体位固定具
一般医療機器/医療機器届出番号:13B1X00207000031



Website



LinkedIn® professional networking services

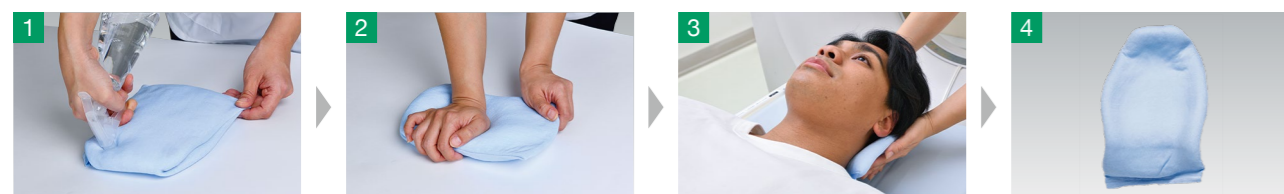


アルケア株式会社

東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル19階 〒130-0013
MAIL: inquiry@alcare.co.jp
www.alcare.co.jp

- 本カタログの内容は2024年7月現在のものです。
- 商品の仕様、デザインおよび価格は、改良や経済状況の変動などにより予告なく変更することがあります。
- 本カタログに掲載の写真は、実際の色とは多少異なる場合がありますので、ご了承ください。

成形の手順 ※実際の成形にあたっては添付文書をよくお読みください



1 使用前にアルミパックを開封し、製品を取り出します。霧吹きを押し付けるようにして水を両面に均等に圧入します。

2 カバー材の表面に付着した水滴をタオル等で軽く拭き取った後、患者が寝るポジションを想定し、型を整えてください。

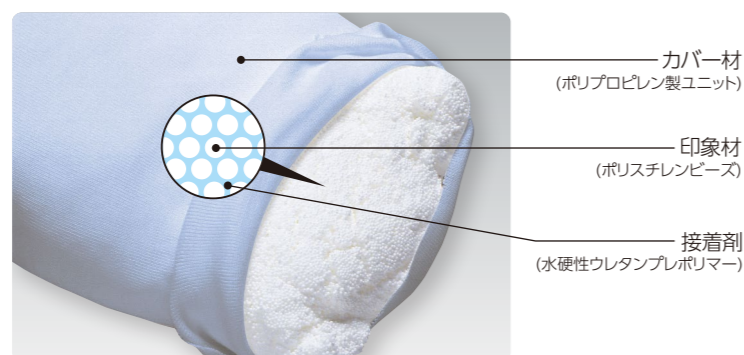
3 患者を製品の上に寝かせ、体型に合わせて成形を行ってください。

4 変形しないよう患者からゆっくり離し、室温で20分間静置して完成です。

放射線治療用患者固定クッション
Patient Customizable Cushion

モールドケア RI IIとは？

カスタマイズ可能で使いやすい
放射線治療用患者固定クッションです。



モールドケア RI IIの特長

- 放射線治療中の患者の動きを最小限に抑えるカスタマイズ可能な固定クッションです。
- 患者とヘッドサポートの間のギャップを効果的に埋め、再現性のあるセットアップを保証することで、エラーを減らすことができます。



- 少量の水をかけるだけでクッションを硬化させることができます。
- クッションを硬化させるためにウォーターバスとオープンは不要です。



様々な環境でパフォーマンスを発揮

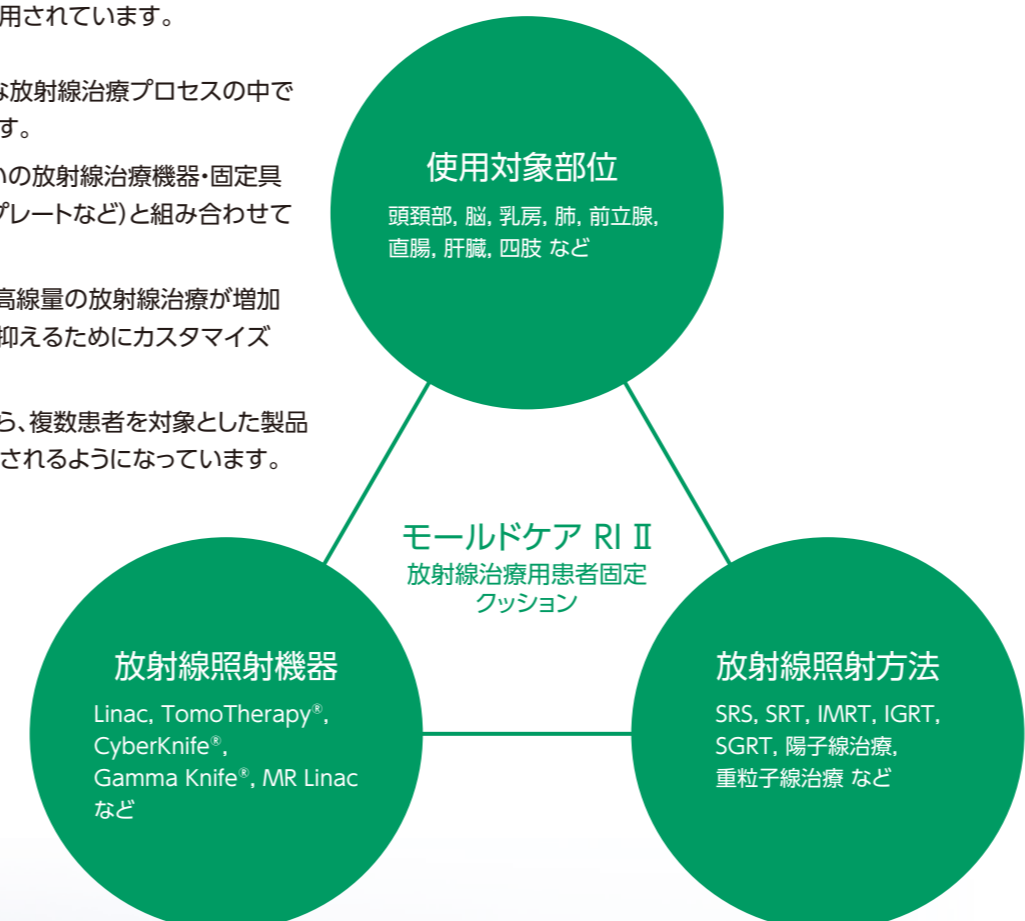
- 比重が0.1と小さく、CT値が-800以下であるため、治療計画作成のCT撮影時に使用できます。
- MRI環境下で安全に使用できます (MR Safe)。
- 治療の全過程を通じて形状と剛性を維持し*、再現性の高いセットアップと正確な治療をサポートします。

*社内テストによると、モールドケア RI IIは12ヶ月間形状を保持することができます。

多様なアプリケーション

モールドケア RI IIは20年以上にわたって放射線治療現場の多様なアプリケーションにおいて使用されています。

- モールドケア RI IIは、多種多様な放射線治療プロセスの中で身体の各部位に使用されています。
- モールドケア RI IIは、いまお使いの放射線治療機器・固定具 (ヘッドサポート・マスク・ベースプレートなど)と組み合わせて使用することができます。
- 寡分割照射を始めとした少分割高線量の放射線治療が増加する中で患者の動きを最小限に抑えるためにカスタマイズクッションが使用されています。
- 感染のまん延を抑制する観点から、複数患者を対象とした製品に比べ単一患者向け製品が選択されるようになっていきます。



幅広い領域における臨床研究

モールドケア RI IIのアプリケーションとその有用性は、数多くの学術論文に記載されており、様々な領域における有効性が裏付けられています。



モールドケア RI II
学術論文リスト



Cross Cancer Instituteの研究において、標準的なヘッドレストからカスタマイズ可能なヘッドレスト (モールドケア RI II) への変更を含む頭頸部治療のプロセスを変更した結果、顕著な改善が見られたことを強調しています。

Assessing Improvement in Setup Reproducibility for Head and Neck Patients Following 2 Cycles of Process Improvement
A. Heikal*, B. Aboughoche, M. Brennan, H. Warkentin, Cross Cancer Institute, Edmonton, AB, Canada Alberta Health Services, University of Alberta

AAPM ePoster Library. Heikal A. 07/12/20; 302959; PO-GeP-T-119
Topic: Patient Safety and Quality Improvement 2020 Joint AAPM-COMP Virtual Meeting, July 12-16,2020

Matthew Brennan, Supervisor Mould room, Cross Cancer Institute (April 8, 2022)

“頭頸部治療プロセスを変更し、最終的には、固定具制作室で標準的なヘッドレストの上にシェル(マスク)を作ることから、患者の頭の下にMOLDCAREのカスタムクッションを使い、シミュレーターでシェル(制作室スタッフによる)を作ることに移行しました。

このような変更を段階的に行った結果、患者位置のためのコーンビームCTが減少し、再計画が必要な患者が大幅に減少(約50%)しました。このことは、セットアップのための患者への被ばく線量の減少を意味し、再計画の減少は、シミュレーションと治療におけるプロセスの大幅な効率化を意味しています。”

“Yes, we changed our H&N process, ultimately moving from shells (masks) made in the Mould Room on standard headrests to shells made in Simulator (by Mould room staff) using MOLDCARE custom cushions under the patient's head.

These changes, done incrementally, led to less Cone beam CTs for patient position, and a significant decline (about 50%) of patients needing to be replanned.

This means less dose to the patient for setup, and less replans means a significantly more efficient process at simulation and treatment.”